

● 企業倫理委員会 — 社外の目 —

企業倫理委員会は、社外の有識者・労働組合の代表および社内委員によって構成されています。この委員会は取締役会の諮問機関として、原則毎月1回の定例委員会を開催しています。そこでは、経営全般に対する「社外の目」による検証や提言がなされ、それらは経営に活かされています。

品質・衛生管理の徹底を監査しています [品質部会]

工場の品質管理、衛生管理の徹底およびレベルアップを目的として、その道の専門家である委員が工場へ赴き、監査・視察を実施するとともに、現場従業員との意見交換などを行なっています。工場では、監査での指摘事項や推奨事項に対して改善策を取りまとめ、企業倫理委員会への報告を行なっています。

消費者重視経営を実践する取組み [消費者部会]

消費者部会は、企業理念の3つの使命の1つである「消費者重視経営」を実践するために社外の声を傾聴し、その声を経営に反映させていこうとする取組みを行なっています。部会では、消費者団体の代表者や消費者問題に関する有識者の皆様に雪印メグミルクグループの取組みを紹介し、消費者目線での評価と意見をいただいています。

2015年度は当社グループの7つの取組みの内、関東では「お客様センター」の見学とお客様からのお問い合わせなどに対応している従業員との意見交換を実施し、関西では「食育・普及」について、酪農家訪問、工場見学、食育プログラム体験を通して、乳のバリューチェーンを体験していただきました。

消費者視点で表示の確認を行なっています

[表示部会]

商品パッケージなどの表示は、私たちと消費者をつなぐ最も重要な情報の一つと考えています。

表示部会では、消費者視点で商品パッケージなどの表示の点検・確認を行ない、問題があるものについては、会社に提言し改善しています。

企業倫理委員会には、品質部会、消費者部会、表示部会の3つの専門部会があります。

第7期企業倫理委員会・
専門部会 委員一覧

PAGE
49



企業倫理委員会



阿見工場での品質監査

関東:お客様センターで
電話対応の流れを見て
いただきました



関西:子牛の授乳体験をしました

企業倫理委員会消費者部会に
参加いただいている主な団体一覧

PAGE
50

またパッケージおよび販促物の表示について当社が独自に定める任意表示マニュアルの改訂に携わっています。



商品パッケージの表示の検討

CSR推進に向けた取組み

● 雪印メグミルクグループ行動規範、雪印メグミルク行動基準

雪印メグミルクグループ行動規範は、雪印メグミルクグループが社会的責任を果たしていく上での行動の基本を示したものです。また、行動規範を具体的にして、遵守すべき事項を取りまとめたものが、雪印メグミルクグループ

の各社が制定した自主行動基準です。雪印メグミルクグループの全役員・従業員は行動規範と自主行動基準を全ての活動の基本としています。

雪印メグミルクグループ行動規範

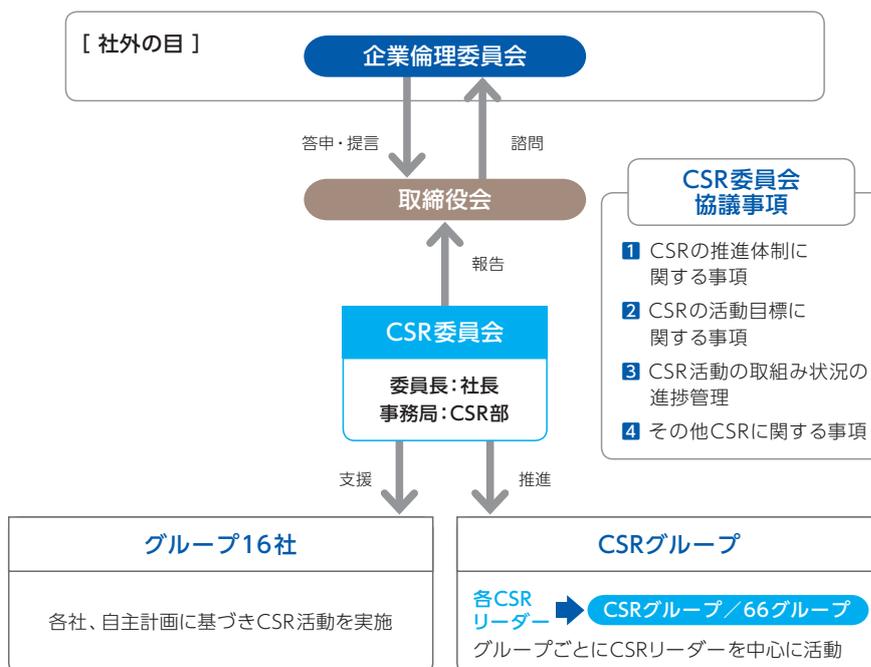
私たち、雪印メグミルクグループは、社会に対して果たしていくべき自らの責任を自覚し、社会とともに成長していくことができるように、以下の通り行動いたします。

- 私たちを取りまく全ての人たちの気持ちを大切に、誰からも信頼されるよう行動します。
- 品質管理を徹底し、安全で良質な商品・サービスを提供します。
- コンプライアンスを徹底し、公正で透明性のある企業活動を行ないます。
- 会社の財産および情報の保全・管理を徹底するとともに第三者の権利を尊重します。
- 企業活動を通して、社会貢献と環境保全に取り組みます。
- 自由と革新にあふれた企業風土を構築し、安全で働きがいのある職場環境をつくりまします。

● CSR委員会

雪印メグミルクグループではCSRを推進していく経営レベルのガバナンスとして、「CSR委員会」を設置しています。社長が委員長を務め、全常勤取締役ならびにCSR部長を委員とし、原則年2回委員会を開催しています。委員会では雪印メグミルクグループが取り組んでいるCSR活動の進捗確認・総括と次年度の活動目標および活動方針を定めています。

CSR推進体制図



● 食の責任を強く認識し、果たしていくことを誓う日の活動 ～雪印の事件を風化させない～

当社の前身である雪印乳業グループが起こした「雪印乳業食中毒事件」、「雪印食品牛肉偽装事件」を風化させることなく常に教訓とし、食に携わるものとしての責任を強く認識するために、毎年2つの事件が発生した6月と1月にこの活動を実施しています。

2015年度は6月に、雪印乳業食中毒事件について社員から選ばれた5名が、当時のそれぞれの立場での経験を語り共有し、未来に向けて食の責任を果たしていくことの重要性を確認しました。1月には「ポジティブな倫理を考える」と題し、慶應義塾大学大学院の前野教授にご講演いただき、「志の倫理」の考え方に触れ、より良い社会、会社となるために、社員の一人ひとりが幸福であることの大切さを学びました。



6月、食中毒事件の経験を活かし食の責任を果たしていくことを共有しました



幸福な社員がより良い社会、会社を創ると語る前野教授

2つの事件について

PAGE
50



活発なミニディスカッションの様子

● CSRグループ活動

雪印メグミルクでは、CSRの確立を目的としてCSRグループ活動を実施しています。この活動は、職場または事業所を一つのグループとし、全社を66グループに分け、そのグループごとにCSRリーダーを中心に全社統一テーマ

での討議やCSR活動についての情報共有を毎月行なっています。

また、「雪印メグミルク行動基準」を基本とし、コンプライアンスの徹底を目的とした活動も行なっています。



CSRグループ活動での活発なグループ討議の様子

● 宣誓書の提出

雪印メグミルクの全役員・従業員は、雪印メグミルク行動基準を遵守する意思表示として、毎年10月に宣誓書に署名し、社長に提出しています。社長はCSR担当役員に提出します。



代表取締役3名の宣誓書

CSR経営に関する従業員アンケート

雪印メグミルクでは、従業員の意識・行動が会社の目指す方向に向かっていくか、CSR活動の取組みにより従業員のCSRマインドが醸成されてきているか、などについて、アンケートを実施しモニタリングを行なっています。

アンケートの結果は、全常勤役員・監査役が読み込み、何回かの討議を経て共有化された後、そこで抽出した課題について対応の方向性を検討しました。

また、その内容を踏まえ、CSRグループ活動にて、全職場で討議を行ないました。

雪印メグミルク

「CSR経営に関する従業員アンケート」結果(抜粋)

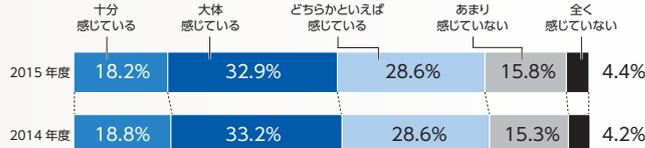


配布された従業員アンケート

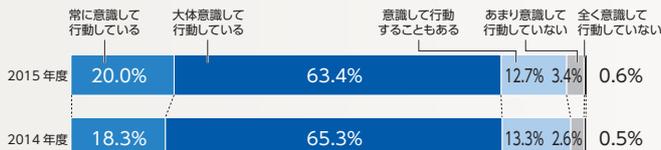
Q. あなたは「雪印メグミルクグループ企業理念」を理解していますか?



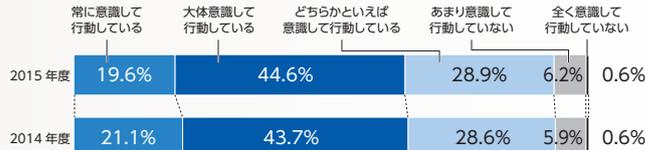
Q. あなたは、今の仕事にやりがいを感じていますか?



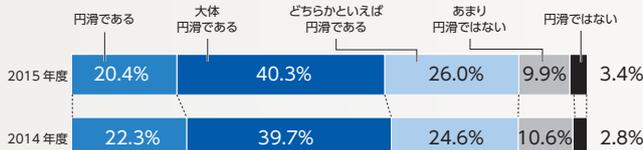
Q. あなたは「雪印メグミルク行動基準」を実践していますか?



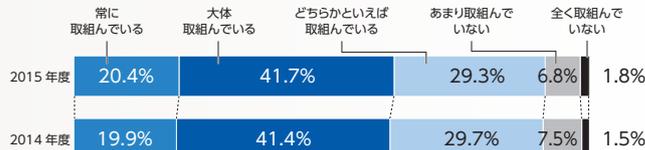
Q. あなたは、日常生活の中で環境保全を意識して行動していますか?



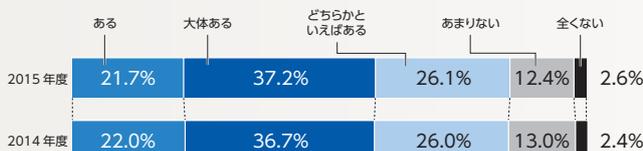
Q. あなたの職場のコミュニケーションは円滑ですか?



Q. あなたは、MSQSのしくみに基づいて品質管理の徹底に取り組んでいますか?



Q. あなたの職場では、誰もが自由に疑問等を問題提起できる雰囲気がありますか?



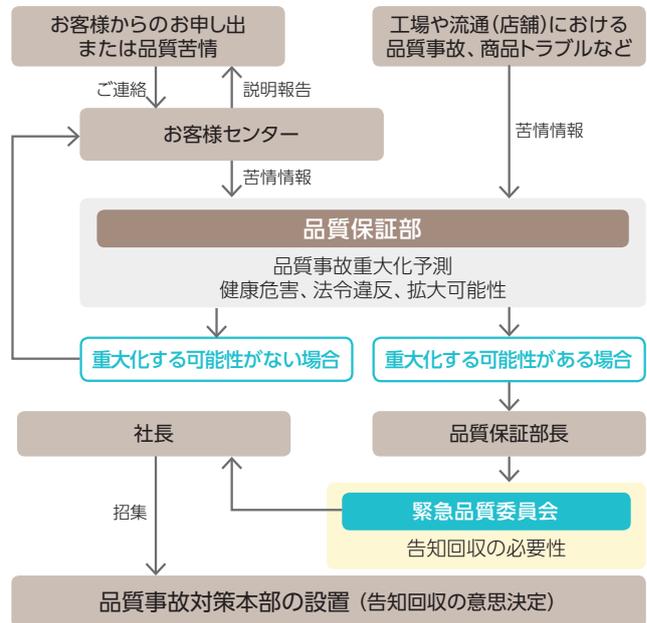
アンケート結果(%)は、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

リスクマネジメント体制

品質事故の対応

雪印メグミルクは、商品の事故に迅速・適切に対応するために、危機管理体制を構築しています。日々のお客様からの申し出はお客様センターに一元化されます。その内、商品の品質に関わる情報は、品質保証部に伝えられます。同様に工場・店舗からの苦情情報も全て品質保証部に集約されます。その情報の中に健康危害、法令違反、事故拡大など重大化する可能性があるかと判断された場合には、緊急品質委員会を開催します。緊急品質委員会では、お客様の健康危害を最小限にとどめることを第一の目的とし、告知回収の必要性を含め、対応を検討します。その後、社長を対策本部長とする品質事故対策本部で告知回収の最終決定をします。

危機管理体制(品質事故対応)



内部通報制度

雪印メグミルクグループでは、グループ各社共用の社内通報相談窓口「雪印メグホットライン」と社外通報相談窓口「社外(弁護士)ホットライン」を併設しています。2つのホットラインとも、公益通報および公益通報以外の法令違反、社内規定違反や社会から非難を受ける恐れのある重大な行為が発生した場合だけでなく、業務上のちょっとした疑問・相談・提案なども制限を設けず受け付けています。

当社グループ各社では、機会あるごとに「ホットライン」の活用を呼びかけています。

ホットライン通報件数の推移

内容	(件)									
	2011		2012		2013		2014		2015	
	社内	社外								
人間関係について	8	0	7	2	11	1	2	1	1	1
品質について	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0
風土改革について	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
コンプライアンスについて	8	1	3	1	5	1	3	0	2	0
職場での問題行動について	6	0	1	0	5	0	18	1	16	2
社内制度や仕組みへの疑問	9	0	4	1	3	0	11	1	3	0
その他	3	1	2	0	6	0	4	0	1	0
合計	34	2	20	4	30	2	38	4	23	3

社内:雪印メグホットライン[グループ社内通報相談窓口]
社外:社外(弁護士)ホットライン[社外通報相談窓口]

商品の安定供給

雪印メグミルクグループは、東日本大震災の後、広域に及ぶ激甚災害が発生した場合を想定し、そのような中でもお客様へ商品・サービスをお届けするための仕組みを構築しています。

- 被災状況をより迅速かつ詳細に把握するために、現行の通信手段に加えて新たな通信手段を導入しています。
- 事業を継続するために必要な重要業務を担当する事業所が被災した場合は、重要業務の早期再開に向けて、被災していない事業所での代替対応手順を明確化しています。
- 商品の製造に必要な原材料は、供給拠点の複数化や代替品の調達などに向けた体制を整えています。
- 商品の輸送については、交通インフラおよび取引先の被災状況の把握に向けた連絡体制を構築するとともに、配送要員・車輛・燃料確保に向けた体制を整えています。